

Cisco Business 350シリーズスイッチでのカスタマーポートマルチキャストTV仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)メンバーシップの設定

目的

仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を使用すると、ローカルエリアネットワーク(LAN)を論理的に異なるブロードキャストドメインにセグメント化できます。機密データがネットワーク上でブロードキャストされるシナリオでは、特定のVLANにブロードキャストを指定することでセキュリティを強化するためにVLANを作成できます。VLANに属するユーザだけが、そのVLANのデータにアクセスして操作できます。また、VLANを使用して、ブロードキャストやマルチキャストを不要な宛先に送信する必要性を減らし、パフォーマンスを向上させることもできます。

マルチキャストTV VLANを使用すると、各サブスクリバVLANのマルチキャスト送信フレームを複製せずに、同じデータVLAN上にないサブスクリバにマルチキャスト送信を行うことができます。同じデータVLAN上になく、異なるVLAN IDメンバーシップを持つデバイスに接続されている加入者は、ポートを同じマルチキャストVLAN IDに結合することで、同じマルチキャストストリームを共有できます。

ポートマルチキャストVLANメンバーシップは、カスタマーサービス用に設定されたポートをマルチキャストTV VLANに接続します。Customer Port Multicast TV VLAN Membershipの設定は、送信元と受信側の間の伝送を分離することによってセキュリティを維持するのに役立ちます。マルチキャストVLAN設定により、送信元VLANからのマルチキャストトラフィックを加入者VLANと共有できます。

この記事では、スイッチでカスタマーポートマルチキャストVLANメンバーシップを設定する方法について説明します。

マルチキャストグループをVLANにマップする方法については、[ここをクリックしてください](#)。

このドキュメントの用語に慣れていない場合は、[Cisco Business:新用語一覧](#)。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))

スイッチのマルチキャストVLANメンバーシップへのカスタマーポートの設定

マルチキャストテレビVLANへの顧客ポートの追加

手順 1

Webベースのユーティリティにログインし、[表示モード]ドロップダウンリストから[詳細]を選択します。



手順 2

[VLAN Management] > [Customer Port Multicast TV VLAN] > [Port Multicast VLAN Membership]を選択します。

1 VLAN Management

VLAN Settings

Interface Settings

Port to VLAN

Port VLAN Membership

▶ VLAN Translation

Private VLAN Settings

GVRP Settings

▶ VLAN Groups

▶ Voice VLAN

手順 3

[Multicast TV VLAN] ドロップダウンリストから [Multicast TV VLAN] を選択します。

Port Multicast VLAN Membership

Multicast TV VLAN:

Interface Type:

Candidate Customer Ports:

Member Customer Ports:

>

<

手順 4

[Interface Type] ドロップダウンリストから インターフェイスタイプ を選択します。

Port Multicast VLAN Membership

Multicast TV VLAN: VLAN 20 ▾

Interface Type: Port of Unit 1 ▾

Candidate Customer Ports:

GE10



Member Customer Ports:

次のオプションがあります。

- ユニット：スタック内のユニット（アクティブ、メンバ、またはスタンバイ）のユニット IDと、そのユニットで使用可能なポート数が[Candidate Access Ports]領域に表示されます。
- LAG：スイッチの複数のポートが組み合わされて、リンク集約グループ(LAG)と呼ばれる1つのグループが形成されます。このオプションを選択すると、使用可能なLAGが[Candidate Access Ports]領域に表示されます。

手順 5

[Candidate Customer Ports]リストには、デバイスに設定されているすべてのカスタマーポートが表示されます。インターフェイスを選択し、>ボタンをクリックして、ポートを[Member Customer Ports]領域に移動します。

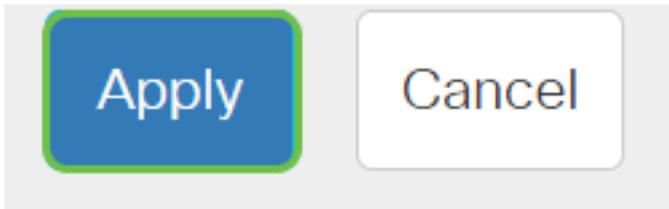
スイッチのVLANインターフェイスの設定方法については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。

Port Multicast VLAN Membership

Multicast TV VLAN: VLAN 20 ▾

手順 6

[Apply]をクリックして、設定を実行コンフィギュレーションファイルに保存します。



ステップ 7 (オプション)

[保存]をクリックして、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。

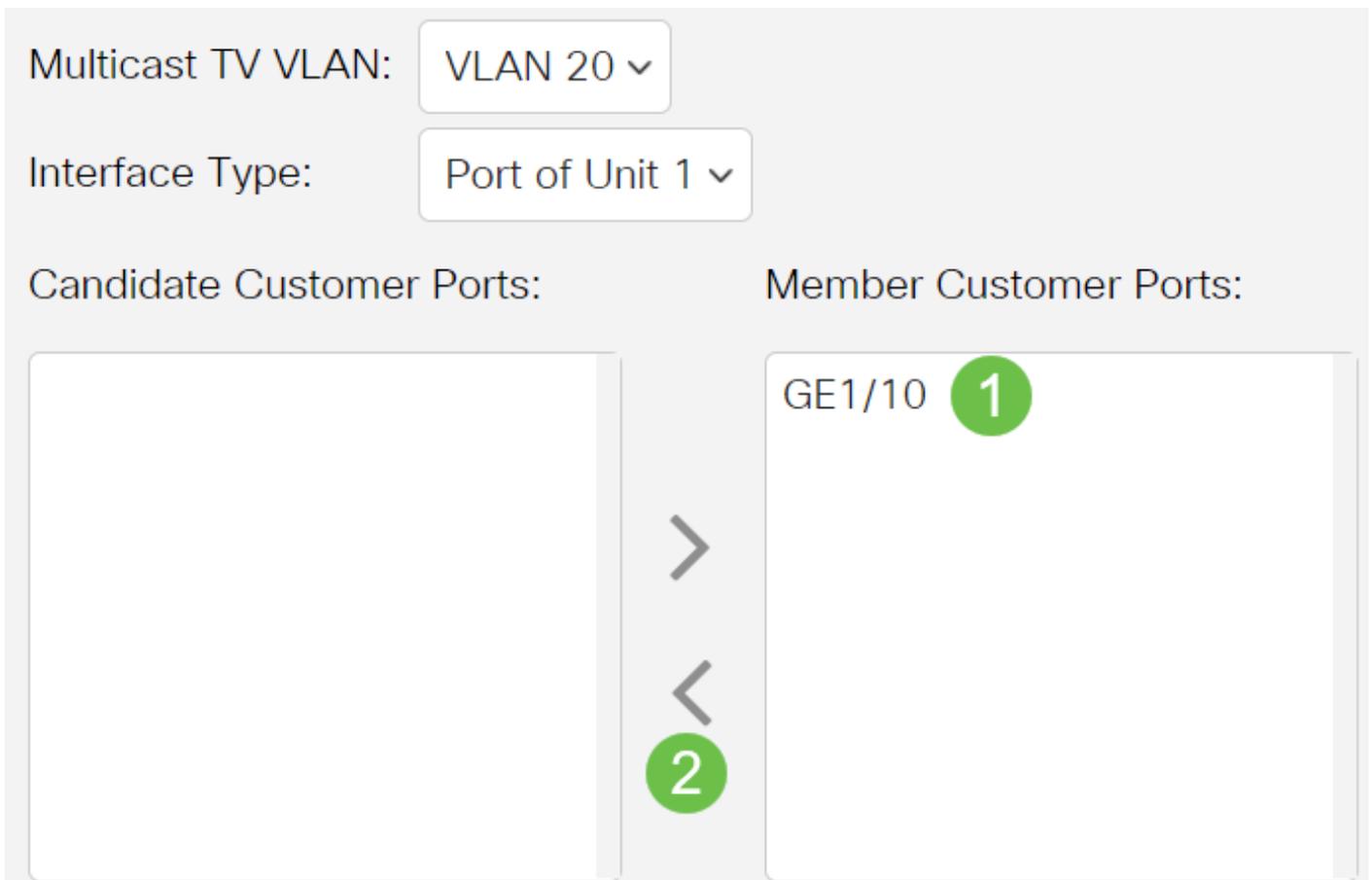


これで、カスタマーポートがマルチキャストTV VLANのメンバになるように設定されているはずです。

マルチキャストテレビVLANからの顧客ポートの削除

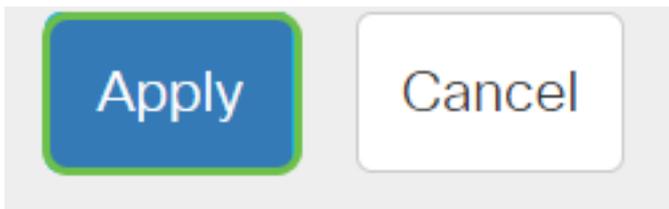
手順 1

[Member Customer Ports]領域でインターフェイスを選択し、[<ボタンをクリックして、ポートを[Candidate Customer Ports]領域に戻します。



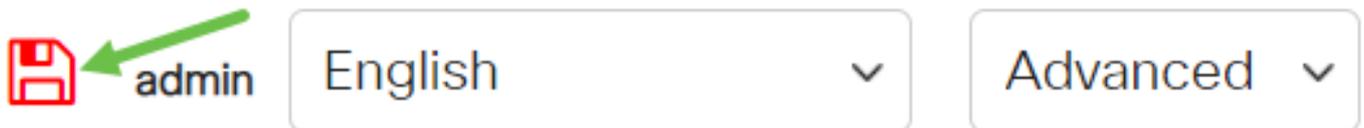
手順 2

[Apply]をクリックし、設定を実行コンフィギュレーションファイルに保存します。



手順 3 (オプション)

[保存]をクリックして、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。



これで、顧客ポートをマルチキャストTV VLANから削除できました。

ご使用のCiscoビジネススイッチのVLANの詳細を探していますか？詳細については、次のリンクを参照してください。

[VLAN の作成](#) [ポートからVLANへのメンバーシップ](#) [プライベートVLANメンバーシップ](#) [アクセスポートとトランクポート](#) [VLANへのプロトコルベースグループ](#) [ポートからVLANへの設定](#) [サブネットベースのVLAN](#) [VLANへのマルチキャストTVグループの設定](#) [プロトコルベースのVLANグループ](#) [アクセスポートマルチキャストTV VLANメンバーシップ](#)